

～ 元気にあいさつ明るい新発田 ～

広報はばたき

第58号

新発田青少年健全育成市民会議

1年を振り返って

新発田青少年健全育成市民会議 会長 小出 隆一



明日の新発田を担う青少年が、心身共に健康でたくましく成長することは、私達すべての願いであり、市民の皆様には、日頃から青少年の健全育成に格別なるご支援とご協力を賜り、感謝と御礼を申し上げます。

昨年6月に役員の改選を行い、新たな体制で始めました今年度を振り返ってみますと、各自治会等のご協力のもと市民の皆様から納入していただきました会費を活用し、7月の市民大会をはじめとした各種事業を実施することができました。会費の納入に加え、多くの市民から当市民会議が開催しました行事にご参加いただきましたことにつきまして、この場を借りて重ねて御礼を申し上げます。今回の広報はばたきにその一部を掲載しておりますので、どうぞご覧ください。次年度も青少年の健全育成活動に邁進してまいりますので、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

青少年健全育成講演会（2ページ）

令和7年1月11日(出)、オルタナティブクリエイター*のカサハラケントさんを講師に迎え、「青少年健全育成講演会」を開催しました。カサハラさんは、紫雲寺地区の出身で、新発田市のPR動画を作成したほか、今年4月に統合する新しい紫雲寺小学校の校歌や校章の作成にも携われており、これまでの経験を振り返りながら、ご自身が作成したご当地カードゲームを通したふるさと新発田への思いやチャレンジすることの大切さについてお話しいただきました。

※既存のものや価値観などに取って代わる新しいものを生み出す人



市民大会、一わたしの主張（3ページ）

令和6年7月27日(出)、新発田市民文化会館を会場に、「市民大会」と「一わたしの主張－新発田市民大会」を開催しました。功労者表彰や記念アトラクションが行われるとともに、市内10中学校の代表生徒が、日頃考えている清新かつ建設的な意見を、自分の言葉で堂々と発表し、会場は熱い思いに包まれました。



青少年はぐくみ環境懇談会（4ページ）

令和6年11月14日(休)、新潟法務少年支援センター統括専門官の木下寛法様と新発田警察署生活安全課長の村山政俊様のお二人を講師に迎えて、「青少年はぐくみ環境懇談会」を開催し、少年鑑別所の役割や少年犯罪の現状などについて、ご講話をいただきました。



青少年健全育成講演会

講師 オルタナティブクリエイター カサハラ ケント 様

「地元愛を育むための“新しいアイテム”の提唱」

オリジナルトランプを作っている企業とのコラボ企画で、ボードゲームを150個以上持っているほどのボードゲーム好きの僕が聞いたんですね。「オリジナルトランプを作れるなら、オリジナルのカードゲームも作れるんじゃないか。そしてせっかく作るのであれば、新発田をPRできるカードゲームを作ってみたら面白そう」と。

今、地元愛を育む新しいアイテムという形で、このカードゲーム作りを学校の授業に取り入れていただけるよう準備を進めているところです。実際に子どもたちがご当地カードゲームを作る体験を通して、子どもたちが我が町の

魅力に、より目を向けるきっかけになると考えています。知識を獲得する学習ではなく、考える喜びを体験することができたり、もの作りの楽しさ、難しさの裏側を知ること、物を大切に扱う心を養うことができたりすると考えています。そして地域の方々との交流のアイテムとしても活用できると考えており、子どもたちが遊び方を教える立場になれば、プレゼンする力を身につける練習にもなるのではないかとこのように思っています。



「伏線と回収 ～人生はひとつの物語～」

今まで選択してきたこと、今まで挑戦してきたこと、その全てが伏線になっていたんです。

もし僕が養成所で音楽コースを選んでいなければ、新発田のテーマソングも校歌の作詞作曲も生まれなかったかもしれない。もし僕が絵を描くことに興味がなかったとしたら、校章のデザインが採用されることもなかったかもしれない。もし僕がボードゲームに出会っていなければ、新発田市PRカードゲームは出来上がらなかったかもしれない。ほかにもいろいろな伏線と回収が僕の人生ではありました。もしこれまでどれか1つでも伏線を張れていなかったら、僕は今ここに立っていなかったかも知れません。

チャレンジしてみることは、いつか必ず回収する日が来ます。チャレンジすることはとても大切なことです。ただそれよりも重要なことがあります。それは、チャレンジを後押しする存在がいることです。小さいとき僕が何かにチャレンジするときには、いつも両親、家族が後押しをしてくれました。だからこそ、思い切ってチャレンジすることができました。もし、本日お越しの皆様、お子さん、お孫さん、あるいは応援したいと思える人が近くにいらっしゃるのであれば、その方のチャレンジをどうか温かく、そして力強く後押ししてあげてください。必ずその子には明るい未来が待っているはずです。

さらには新発田という町が、そのチャレンジを後押しできる存在になってほしいと僕は願っています。そうすれば必ず新発田市にも明るい未来が待っているはずです。



わたしの主張



生成 AI と歩む未来のために

猿橋中学校 3年 松澤 ありさ

AI は、人間が寿命に制約され、本などの媒体のみで知識の蓄積を図っているのに対して、あらゆる知識を際限なく蓄積し、即座に活用できる最強のツールであると考えている。生成 AI を活用することによって、より良い未来に繋げていくために、生成 AI について学びを深めていこうと考えている。



私がもらった勇氣

第一中学校 3年 山賀 なつほ

「認めてもらう」ということは、とても安心できる、勇氣が出ることだと思います。その思いやりによって、認めてもらった側は救われ、本当に心が軽くなります。

私自身も、周りの人を認め、安心させられるような人を、これからも目指していきます。



命を守るための武器

豊浦中学校 3年 いそべ ひな 磯部 雛

誰もが被災者となる可能性がある私たち一人一人が、普段から真剣に向き合わねばならないと私は思う。

有事の際にすべきことを少しでも理解しておき、慌てずに行動できるようにする。それは、一人一人が自分の命を守るための武器になると思う。



まず気がつかないとなくならない

佐々木中学校 3年 さとう しょうま 佐藤 昇真

偏見をなくそうと思っても急にはなりません。では、どうすればいいのか。

私は訴えたい。「まず偏見をもっている自分に気づくこと。そして現実を学ぶこと。そうしないと偏見なんか絶対になくならない。偏見は一人一人の自由と可能性を妨げるんだ。」



不登校が与えてくれた勇氣

七葉中学校 3年 いいの さくらこ 椎野 桜子

この3年間で経験したことは、楽しいことばかりではなかったけど大切なことを学び、行動に移す勇氣を与えてくれました。この経験が活かせるように、私にできることは何か考え、全力で楽しみながら努力をして、自分自身や周りの人たちから認めてもらえるように、自分らしく生きられるように、頑張っていきたい。



動物を飼う責任と覚悟

東中学校 3年 ほんま りお 本間 理緒

皆さんは動物が好きですか？目の前の命に責任を持っていますか？振り返ってみてください。可愛いからと衝動的に飼うのは無責任です。一番大切なのは、私たちが動物を飼う前に将来のことや最期のことを考えて、胸を張って責任、覚悟を持っていると言えるようになることなのです。



愛と絆の力で築く未来

本丸中学校 3年 かとう みゆ 加藤 美夢

皆さんも、自分にとって大切な人を思い浮かべてみてください。そして、家族や友人との絆を大切に、お互いに愛情を感じ合うことのできる、そんな未来を目指しましょう。

私は、今日もまた、光り輝く夜空を見上げて、大切な人たちとの絆を感じています。



依存は悪いこと？

川東中学校 3年 おの かおり 小野 叶夢

依存を悪いことだと考えず、支え合いの関係だと考えてはどうでしょうか。みんなが信頼し合い、依存したり、依存されたり、支え合う関係になることで、尊重し合い、多様な他者と協力することができ、今後、現代社会の様々な課題を解決していく鍵は「依存」だと私は思います。



進むために

加治川中学校 3年 いいくら さやか 入倉 彩紘

困難を乗り越えるために重要となるのが、対話だ。時には対立しても、勇氣を出して自分の思いを伝え、同時に相手の思いを受け止めることで、色々な発見につながるはずだ。私は、これからも、どんな立場の人とも対話を重ね、お互いを認め合えるような関係を築いていきたい。



憧れのヒーロー

紫雲寺中学校 3年 こいけ ゆうあ 小池 由彩

今度は私が、周りの人々を支えられるヒーローになる番だと思っています。あの時、私を支え、変えてくれた親友のように。きっとすぐに彼女のようにはなれないでしょう。それでも、心の中にはいつも「誰かを支えられるように」という気持ちを忘れずに生きていきたいです。

青少年はぐくみ環境懇談会

「少年鑑別所の役割と少年非行の現状」

新潟法務少年支援センター 統括専門官 木下 寛法 様

●鑑別業務を進めるにあたって大切にしている視点●

統計的に再非行のリスクと関連すると言われている要因には、生育環境、問題行動歴、保護者との関係性、逸脱親和性などが挙げられますが、このようなリスクを見立てる一方で、少年の良いところ、強み、長所に着目することも重要と考えております。非行に対する処遇は、もちろん悪いところの改善も重要なのですが、強みとか長所を伸ばすことで、逆境を跳ね返す、乗り越える力を高めさせることも重要になってきます。例えば、働くことへの健全な思考があるとか、職場の中で認められようとするような態度があるとか、保護者側に監護環境を変えようとするような意欲が見られるとか、そういったところが長所とか強みになってくると考えられます。また、なかなか学校や職場で成功体験が積み重なったという場合であれば、成功体験をスモールステップで積み重ねさせていって自信を高めさせていくということも重要になってきますし、あるいは保護者との関係の中で、保護者側に歩み寄るような姿勢が見られる場合ですと、意思疎通の円滑化も処遇指針として提示できるかと思います。ですから、問題性に着目するのに合わせて、その少年の強みがどこかということを見ていくことも、処遇の上では非常に重要な視点になります。



●最近の非行少年の特徴●

対人関係の希薄さや不器用さ、それから発達過程で課題となってくるような自立が先送りになってきていると言われています。また、集団非行が減ってきている背景に、反社会的な非行よりも非社会的な非行が目立ってきていることも指摘されています。そして心理面の特徴として、居場所がないとか、自己肯定感が低いとか、不平等感と諦め、開き直りが見られること、痛み・傷つきに鈍感というような特徴が挙げられまして、困っているのに困っていると言えないから非行という形で表現するという少年が結構見られます。非行少年の生きづらさの背景として、様々なハンディキャップも見てとれます。例えば、発達障害や知的障害ですとか、家庭内の環境などの要因です。虐待や貧困、いじめ、最近広く認知されつつあるヤングケアラーも、生きづらさに結び付く要因の1つと言えます。このような背景を抱えながら入所してくる少年が多くなってきているという印象で、面接を重ねていく中で、生きづらさを突き詰めていく、聞くことで把握していく、理解していくということが、非行の問題を掘むことになり、処遇の指針を示す上でも重要と思っています。



「青少年の非行の現況」

新発田警察署 生活安全課 課長 村山 政俊 様

令和6年に新発田警察署管内で検挙補導された非行少年は、9月末時点の数値が過去4年間のいずれの年間補導数を上回っているという状況で、近年では最多の検挙補導数になることが確実にになっている情勢であります。そして、その半数近くが万引きか自転車盗のいずれかで初発型非行と呼ばれる犯罪でした。県内の統計でも初発型非行が前年同期に比べ2割ほど増加しており、初発型非行の抑止が重要と感じております。



あとがき

本号も無事にお届けできたのは、地域の皆さまの温かいご支援と、取材・執筆にご協力いただいた多くの方々のおかげです。今回の「はばたき」では、青少年健全育成講演会、市民大会・わたしの主張、青少年はぐくみ環境懇談会の内容をご紹介しました。日々変化する社会情勢の中で、私たち新発田青少年健全育成市民会議は、未来を担う子どもたちの健全育成と、地域全体の活性化に寄与すべく、活動を続けています。

皆さまが、本誌を通して当会の活動や地域の声に触れていただき、少しでも新発田における青少年健全育成の取組の現在地を感じ取っていただけたなら幸いです。今後も、青少年と地域の未来に向けた取組を、より一層推進してまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

(編集委員 井澤 栄一郎)

発行 新発田青少年健全育成
市民会議

事務局 新発田市青少年健全育成
センター

住所 新発田市緑町2-6-36

電話 0254-26-0897

編集委員 井澤 栄一郎 浅倉 真美
遠山 明美